

重点となる具体の学校経営目標(2)【徳育推進】

礼儀・マナーに関する指導を充実させる。また、人間関係構築力、規範意識及び人権意識を育み、いじめや暴力は絶対に許さない生徒を育てる。

課・室・学科	重点目標	具体的計画	達成基準	中間	評価	最終	評価	外部評価
総務課	社会貢献活動を通して、視野を広げるとともに社会性を養う。	・社会貢献活動の意義を理解させるために、生徒対象のガイダンスや研修会を企画し開催する。 ・学年・学科・部(同好会)・委員会などの単位で、社会貢献活動の機会を多く設け、生徒が積極的に取り組めるようにする。	・年度末に社会貢献活動の参加者数が <b>3,000名以上(R01 2,700名)</b> になる。 ・学校評価アンケートで社会貢献活動の肯定者が <b>80%以上(R02 93.3%)</b> になる。	・今年度もコロナ禍のため校外での活動は十分に行えていないが、学校周辺の清掃活動なども取り入れて活動している。8月末現在 <b>686名</b> の報告がある。	B	・コロナ禍の影響で岡山マラソン等の大規模ボランティアが中止となったため、延べ数は達成基準に到達しなかった。(1月末現在延 <b>1,455名</b> 。ただし未集計のものがある) ・アンケートによる肯定者は <b>98%</b> であり、活動には主体的に取り組んでいる様子がうかがえる。	B	A
生徒課	礼儀・マナーに関する指導を充実させ、人間関係構築力、規範意識及び人権意識を育む。	・委員会・部活動の生徒を学校のリーダーとして課題解決に向け、全校に働きかける。 ・指導に関して教職員の意思統一を図る。	・交通事故(加害・被害・自損)件数が <b>15件以下</b> になる。(R02 10件) ・自転車の安全利用、交通安全の意識向上が <b>80%以上(R02 未調査)</b> になる。	・交通事故件数 <b>6件</b> (9/1現在)。昨年同時期より <b>6件</b> 減少している。 ・交通ルール・マナー遵守の意識が低い生徒が見られる。アンケートは2学期中間考査以降を目途に実施する。	B	・交通事故件数(1/20現在)、昨年同時期より <b>6件</b> 減少。年度当初の目標である交通事故件数 <b>15件以下</b> となった。 ・交通ルール・マナー遵守の意識について1月にアンケートをとった結果、日頃の遵守意識は <b>90%</b> を超えていた。また、交通自治委員等による交通安全啓発活動を通じて以前より交通安全への意識について約 <b>80%</b> が高まったと回答している。	A	A
人権・教育相談室	LHR・総合学習において、より効果的な人権教育の推進に努めるとともに、教職員研修の充実を図る。	・人権・教育相談講演会(1年)(5月) ・人権・教育相談講演会(2年)(10月) ・主権者教育LHR(3年)(10月) ・主権者教育LHR(2年)(12月) ・人権・教育相談教員研修(6月)	・講演会の感想・アンケートによる生徒の人権意識向上が <b>80%以上(R02 実施なし)</b> になる。 ・教職員のアンケートによる研修の充実度が <b>70%以上(R02 実施なし)</b> になる。	・人権・教育相談講演会(1年)の生徒アンケートで <b>93%</b> の生徒が人権意識が向上したと答えた。 ・人権・教育相談教員研修(6月)の教職員アンケートで <b>90%</b> の教職員が研修が充実していたと答えた。	A	・学校評価調査の結果や生徒の講演会の感想などから、今年度の取り組みが一定の評価を得ていることがうかがえる。今後、更なる人権教育の推進のためには、講演会や研修会だけでなく、継続した取り組みを検討する必要があると考える。	B	A